

○事業目的

- ・ 山形市中心部国道13号における交通混雑の緩和、交通安全の確保
- ・ 三次救急医療機関へのアクセス向上

○計画概要

起終点 : 自 : 山形県山形市大野目一丁目
 至 : 山形県山形市浜崎

延長(開通済) : 1.2 km (- km)

幅員 : 38.5m(完成)

道路規格 : 第3種第1級

設計速度 : 80 km/h (本線)

事業化 : 平成16年度

用地着手 : 平成17年度

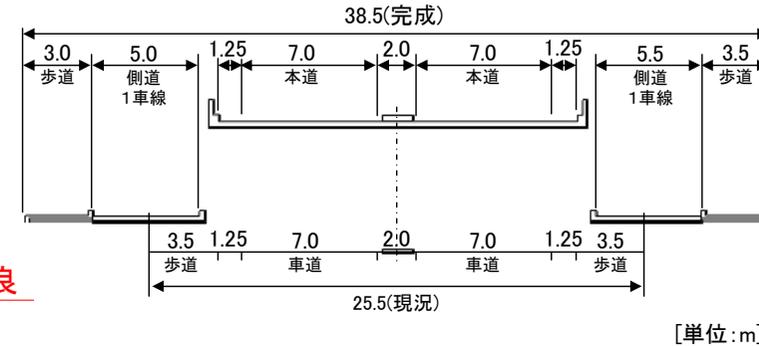
工事着手 : 平成19年度

事業費・進捗率

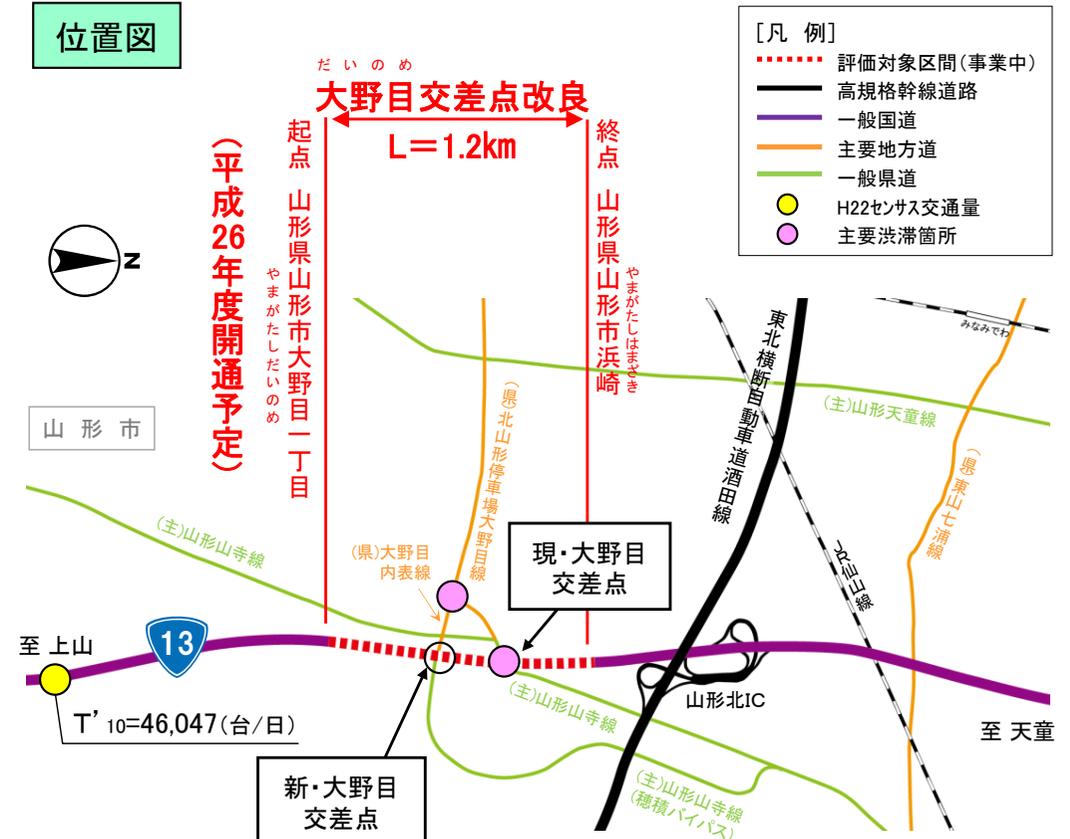
	全体事業費 (うち用地費)	執行済み額 (うち用地費)	全体進捗率 (用地費)	H22再評価時 (用地費)
完成	104億円 (31億円)	99億円 (31億円)	95% (100%)	104億円 (31億円)



標準横断面図

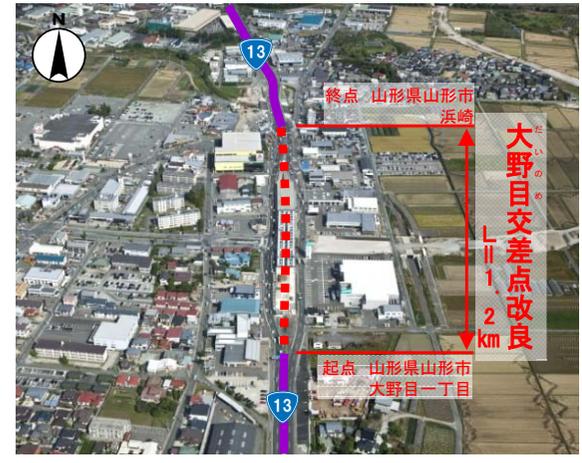


位置図



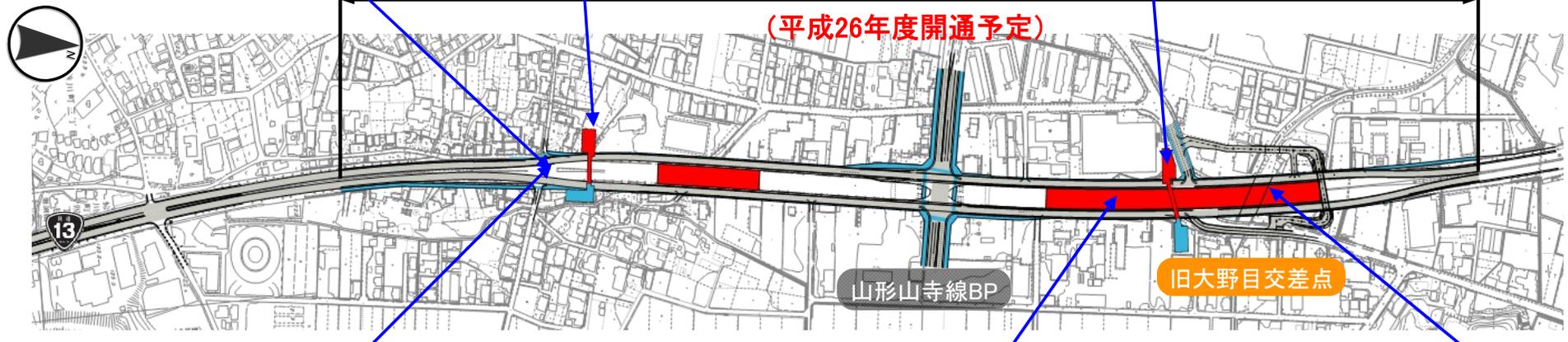
事業の進捗状況

平成25年8月20日現在



大野目交差点改良 延長 L=1.2km

(平成26年度開通予定)



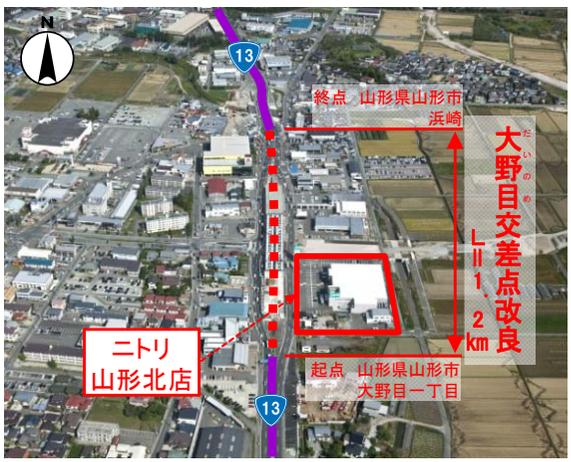
前回再評価時からの周辺環境等の変化

- ◆ 山形市北西部では、H23年度の土地区画整理事業完了以降、大型店の出店や住宅地開発による人口集積がみられる。
- ◆ また、大野目交差点に隣接した沿道にも大型店の出店が見られる。
- ◆ 更に大野目交差点の東側には、主要地方道・穂積バイパスが開通するなど、新たな交通ネットワークが整備されている。

▼大野目交差点周辺の開発動向



▼大野目交差点改良周辺の状況



▼新大野目交差点に隣接して出店した大型店



(H25.5.28撮影)

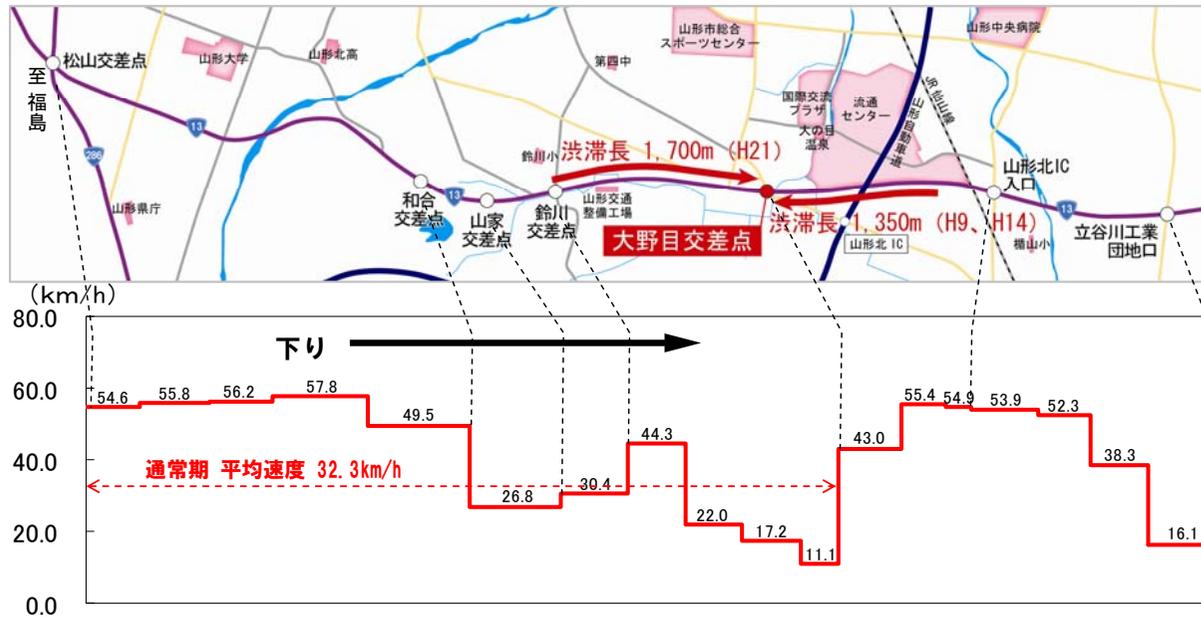
資料: 山形市まちづくり推進部 都市政策課「そよ風タウン山鳥」ホームページ
 山形県「大規模小売店立地法に基づく届出の状況/新設届(法第5第1項)」

事業の必要性 1

交通渋滞の緩和

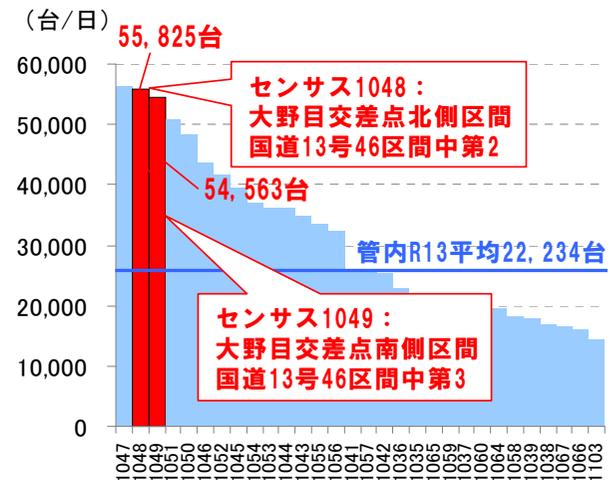
- ・松山交差点～大野目交差点の下り車線での平均速度は32.3km/hとなっており、管内国道13号平均42.4km/hより10km/h以上低い区間となっている。
- ・大野目交差点の立体化により、山形都市圏の主要結節点における交通渋滞の緩和が期待される。

▼松山交差点～立谷川工業団地口交差点の旅行速度の比較(通常期)

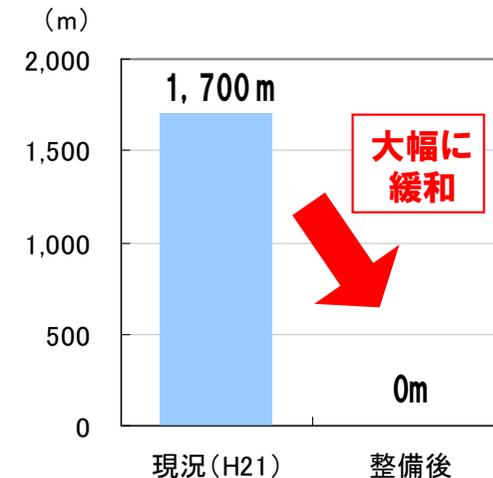


資料: H20通常期(下り、7時台)

▼国道13号の平日24時間交通量(センサス区間, 高順)



▼整備前後の渋滞長



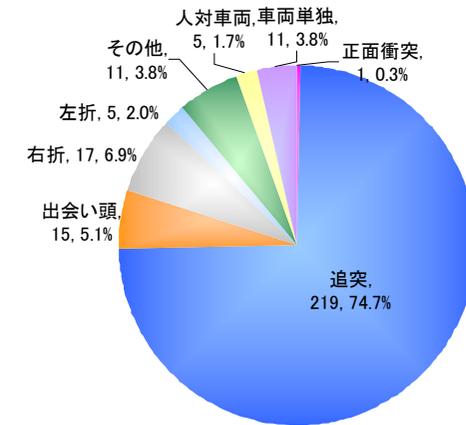
交通事故の抑制

- ・大野目交差点付近で発生している事故の内訳は、その大半が追突事故となっており、渋滞に起因していることが想定される。
- ・また、渋滞を回避する交通が生活道路に流入し通学する児童・生徒を危険に晒していることから、大野目交差点の早期の立体化により、交通事故の抑制及び通学児童の安全確保が期待される。

▼大野目交差点の事故状況



▼事故の内訳
(大野目交差点の前後2.0km区間を集計)

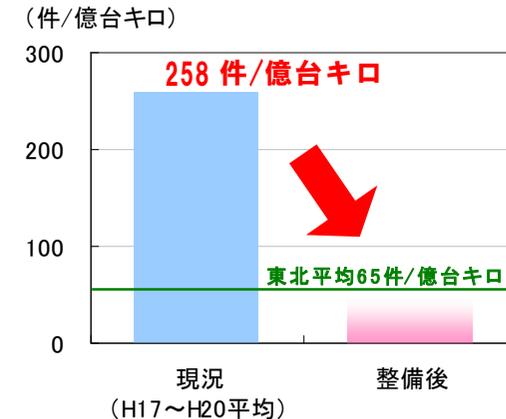


資料: H17-H20イタルダ

▼渋滞を回避して生活道路へ流入する交通



▼整備前後の死傷事故率



資料: H17-H20イタルダ

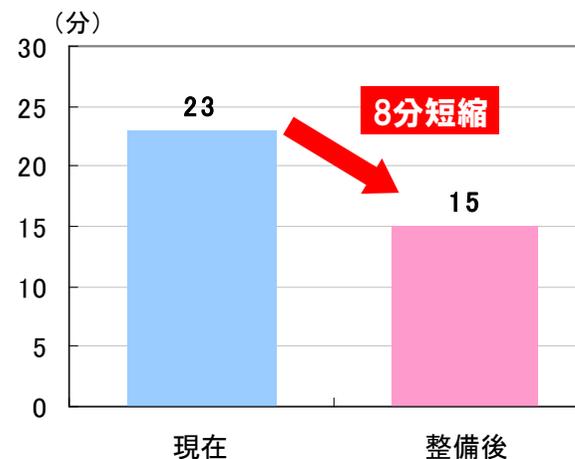
拠点医療施設へのアクセス改善

- ・大野目交差点の北部には山形県の医療を支える「山形県立中央病院」が立地しており、山形都市圏内から救急患者の搬送がなされている。
- ・救急搬送において大野目交差点の渋滞による搬送時間の遅延を防ぐ必要があるため、県民の救命率向上に向けて大野目交差点の円滑化は必要不可欠である。

▼山形県立中央病院の位置図及び写真



▼山形県庁→中央病院までの所要時間の変化



* H17センサスピーク時旅行速度(平日)を元に、渋滞長を通過時間に換算し算出。